

釜ヶ崎講座ニュース No.66

2022年7月27日

釜ヶ崎講座

大阪市港郵便局私書箱40号
大阪市西成区萩之茶屋1-9-7
釜ヶ崎日雇労働組合気付
事務局 090-2063-7704
Mail kamakouza@cw2.bai.ne.jp
<http://cwoweb2.bai.ne.jp/kamakouza>
郵便振替 00940-1-132778

会員・読者の皆さん、日頃のご支援・ご協力、またカンパのご支援に感謝いたします。
有難うございます。さて釜ヶ崎講座ニュース No.66 を発行しました。今回は「第51回釜ヶ崎夏祭り」と「釜ヶ崎歩きツアー」の開催予告、最近の釜ヶ崎と講座の動きを、雑ばくですが掲載しております。

1. 「第51回釜ヶ崎夏祭り」が8月12～15日で開催！

- 12日は夕方から三角公園にて前夜祭
- 13～15日は午後3時ごろより催しがスタート
- 「釜歩きツアー」は8月15日（月）に開催します

7月当初から毎週火曜日に「第51回釜ヶ崎夏祭り」の実行委員会がもたれています。実行委につどう各団体、個人は釜ヶ崎や地域をとりまく諸課題に向き合いながら、今年も祭りの成功に向け動いています。

7月に入りコロナが蔓延・拡大の動きにある状況ですが、釜ヶ崎夏祭りの意義にしっかりと依拠し、できる対策は皆の議論と協働のちからでやりきる中で祭りを成功していくことが話し合われています。

スケジュールも出来ること、出来ないことを線引きして、近日決定される方向です。詳細が決まれば釜ヶ崎講座ホームページにも掲載します。また夏祭り実行委員会からの各情報にご注意ください。

2. 「釜ヶ崎歩きツアー」を8月15日に開催します。

▶ 水野阿修羅さんの案内です

さて名水先案内人の水野阿修羅さんの先導で今夏も釜ヶ崎歩きツアーの時期がやってきました。多くの皆様のご参加、お待ちしております。

- 日時 8月15日(月) 午後12時30分受付開始。 午後1時出発。
- 集合場所 釜ヶ崎日雇労働組合事務所前(大阪市西成区萩之茶屋1-9-7)
- 案内人 水野阿修羅さん
- 参加費(資料代含む) 500円
- その他 事前予約の連絡不要です。
- 問い合わせ 090-2063-7704 (釜ヶ崎講座事務局 河村)

3. 最近の釜ヶ崎での取り組みの報告

① 「仕事づくり・街づくりツアー」を開催しました

平日の釜ヶ崎を歩き、学習。働いて街をかたち作る実態を知る。

釜ヶ崎講座はさる5月25日(水) 午後1時より30名の参加で上記のテーマで新たな試みのツアーを行いました。

この日の案内人(講師)に釜ヶ崎支援機構理事長の山田実さん、「バリアフリーサービスつばさ」代表理事の穴沢一良さん、釜ヶ崎支援機構相談員の小林大悟さん、それぞれ3人をお願いして平日の釜ヶ崎の実情を学習・見学することができました。

山田さんには特別清掃事務所、緊急避難所、労働センター、支援機構お仕事支援部を案内してもらい、日雇い労働と反失業の闘いの歴史や今後の展望、各事業の現地窓口での取り組みの説明を聞きました。

穴沢さんには就労継続支援B型作業所「ほんでなあ」へ行き、施設での作業と課題の説明を受けました。また新センターでのワンストップサービスの役割と確立の必要性が述べられました。

小林大悟さんには西成区委託のサービスハブ構築・運営事業「どーんと西成」の取り組みを中心とした生活を自力で取り戻す支援での地域連携の活動を紹介してもらいました。

失業・貧困・差別が横たわる今日の社会で釜ヶ崎の各団体や個人が行政とも連携し、また時には突き動かしながら、当事者の自力更生を日々サポートする動きがこの日のツアーで一步認識できたかと思っています。

このツアーを受けて新たな内容をもったツアーの企画を今後も考えていきたいと思っております。この日もアンケートに意見を書いてもらい有難うございました。各案内人のみなさん、参加されたみなさん、ごくろうさまでした。

② 新型コロナ・住まいと暮らし緊急サポートプロジェクト OSAKA

第7回 食料配布&相談会が実施されました

釜ヶ崎を中心とした22の団体で継続支援に取り組む「新型コロナ・住まいと暮らし緊急サポートプロジェクト」主催による7回目となる食用配布と相談会が、6月25日に西成区民センターにおいて正午より3時半まで行われました。講座ニュース NO.65でも「第6回目相談会」の取り組みを報告しましたが、前回85名の来場者を今回は大幅にこえた215名の人の来場でした。この日、食料品(24品目)215セット、お米(5kg)162個、おむつ14個、生理用品20個等が配布されました。相談件数は32件で歯科相談5件のほか、仕事10件、生保以外の貸付制度について8件、食料について5件等々と続きました。このことから人々は依然として食べることを中心とした生活困難にさいなまれており、安心できる環境での生活が求められていることが分かります。ウクライナ戦争がひきおこした国際的な諸物価高騰に変異株コロナの拡大予兆で今後も人々の、とりわけシングルマザーや外国人、介護者を持つ所帯等の先行き不安が広がる可能性が見えます。

この日、スタッフは9時過ぎから会場での準備をはじめ、また新たに協賛した団体も加わりました。フードバンクや生協コープからの食糧支援も増え、紆余曲折もある中、ち密な議論と振り返りで、OSAKA プロジェクトは次回8回目8月27日相談会に向けて始動しています。

◆追記◆

～去る6月29日、にじいろ家族でケアマネジャーの梅田政宏さんが病気で急逝されました。2020年8月8日の釜ヶ崎講座第16回学習会で「性的少数者」のテーマで講演していただき、性的少数者への差別・偏見廃絶と当事者を中心した法も含む権利擁護確立を熱弁されました。またHIV問題にも説得力を発揮され、啓蒙を一貫して貫かれました。いつも快活で気さくに仲間として迎え入れてくれた梅田政宏さん。合掌～

☆事務局よりカンパ要請お願い☆

釜ヶ崎講座に対して日頃のご支援に感謝いたします。有難うございます。釜ヶ崎講座はみなさんのカンパで活動しております。振込用紙を同封しています。皆様のご賛同よろしくお願いたします。(事務局)

釜ヶ崎講座